

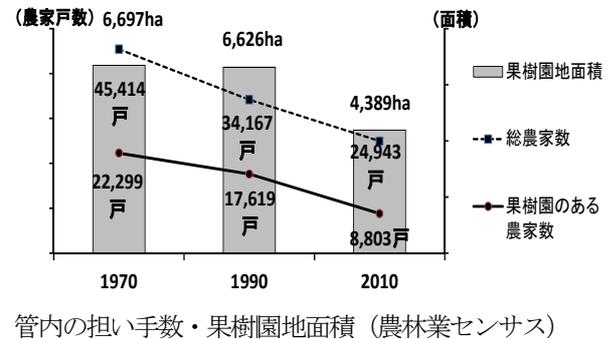
# 新規就農者の確保と定着を加速化させる方策について

—果樹経営の特徴と共同のメリットに着目した担い手確保の新たな長野地域モデル—

長野地方事務所

## 1 現状と課題

- 管内の果樹農家数や果樹園地面積が減少し、産地基盤の再構築が必要となっている。
- 特に担い手の早期確保が急務である。
- 「体験から定着」までの支援体制を充実させ、地域主体の新たな仕組みに転換



## 2 ポイントとなる問題点

- ① 管内農業に関心の高い相談者は多いが、就農者の定着に効果の高い「里親研修」数が少ない

<p>相談者 150名</p> <p>管内就農に高い関心 70名</p> <p>里親研修生 開始 10名</p>	課題	(1) 知識や体験が少ない者も多く、決断に至らない (2) 農地等の確保など、里親の個人負担が大きい
	改善策	里親研修生を増やし、里親の個人負担が軽減できる研修制度の充実が必要

平成 26 年度管内実績

- ② 果樹経営の就農時には、収穫できる生産性の高い樹園地を準備しておくことが必要

	課題	(1) 水稻や野菜と異なり、定植後収穫まで5年程度が必要 (2) 賃貸可能な生産性の高い樹園地確保が困難になっている
	改善策	産地が生産性の低い樹園地を、計画的に新しい苗木に植替えて、新規就農者用に賃貸する仕組みが必要

(低樹高で作業性の良い「りんご新しい化栽培」)

- ③ 果樹経営には、農作業倉庫等の施設が必要であるが、その確保が困難

	課題	(1) 農機具の保管や、箱詰め作業用の施設が必要 (2) 就農直後の所得では、取得が困難で、アパート内で箱詰めしている新規就農者もいる
	改善策	新規就農者の早期経営安定のため、地域が作業施設の確保を支援する仕組みが必要

(アパートの一室を活用中の果樹新規就農者：須坂市)

### 3 課題解決のための提案内容

相談

#### ① 研修制度の追加と里親登録要件の拡大により、産地受入れ体制を促進

##### 方策

- ・就農地決断前の者を、産地に誘致する研修体制を推進
- ・「産地」が里親となり、里親の個人負担軽減と受入数を拡大
- ・産地は「新規就農者定着促進プラン」を策定し、研修を実施

##### 提案

- 産地団体は年間 20 日程度の「里親研修前お試し体験研修」を開催、県や市町村が運営を支援
- 「里親農業者」の登録要件をJA出資法人や生産者部会等の産地団体にも拡大し、コーディネーターを設置
- 県は、「研修コーディネーター」の設置費用を負担  
➤ 事業費 240 万円 (60 万円/人×4 人)

##### 期待される効果

- [就農相談者] 就農適性を早期に判断しやすく、決断後は里親研修に移行しやすい
- [研修生] 土づくり、剪定、農機修理など、その分野に得意な複数農家の受講が可能
- [産地] 研修生確保の拡大、里親の個人負担軽減、農地や住居等の確保が効率化

体験・研修

#### ② 研修体制と樹園地整備をセットで取組むことで、新規就農者への樹園地継承を促進

##### 方策

- ・JA等が就農者に貸貸する、老朽樹園地の整備を拡大

##### 提案

- 樹園地整備に活用できる「需要に応える園芸産地育成事業」(1/2 以内)の補助上限を 250 万円から、要件付き(※1) で 500 万円(※2) に拡大
- ※1: 「新規就農者定着促進プラン」を策定し①の研修に取組む産地
- ※2: ぶどう新規就農者に必要な 50a 分の果樹棚等の設置費用 1000 万円

##### 期待される効果

- [新規就農者] 就農時点で生産性の高い樹園地が確保でき、経営の早期安定化が期待できる
- [産地] 研修制度と連動することで、整備する樹園地の受け手が明確となり、事業を進めやすい

準備・定着

#### ③ 農作業倉庫等の環境整備により経営安定へのステップアップを支援

##### 方策

- ・産地が取組む施設改修を促進し、新規就農者の不足施設解消と、必要経費の削減を支援

##### 提案

- JAや市町村が、閉鎖した保育園や遊休倉庫等を農作業小屋や農機具格納庫に改修し、新規就農者に貸付ける際、新規就農者の利用料金を、就農 5 年以内に限り、要件付き(※1) で県が 1/2 負担
- 県営住宅活用の場合、用途変更し市町村へ移管
- ※1: 「新規就農者定着促進プラン」を策定し①②に取組む産地の就農者  
➤ 事業費 120 万円 (上限 10,000 円/月×12 か月×1/2×20 名)

##### 期待される効果

- [新規就農者] 必要な施設の確保、農業経費の抑制による経営の早期安定化が期待できる
- [産地] 新規就農者のニーズに応えられ、遊休資産の有効活用も期待できる

経営安定

### 4 成果目標

- ・地域受け入れ体制を整備した長野管内の果樹産地 4 地区
- ・管内の果樹の里親研修実施数 20 件/年間